

名張市総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」
策定に向けた意見交換会
(意見概要)

令和4年10月

1. 開催趣旨

10年先を見据えた市政運営の指針となる新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」の策定に当たり、若い世代を中心に意見交換会を開催しました。

2. 開催概要

開催日時等	相手方	人数
令和4年8月6日(土) 午前9時30分～午前11時00分 (会場:FLAT BASE)	一般社団法人つなぐ 大学生メンバー及び同世代の社会人	5人
令和4年8月9日(火) 午後7時00分～午後8時20分 (会場:名張産業振興センターASPIA)	名張商工会議所青年部	8人
令和4年8月22日(月) 午前10時00分～午前11時30分 (会場:赤目四十八滝キャンプ場)	一般社団法人滝川YORIAI	5人
令和4年9月15日(木) 午後6時00分～午後7時15分 (会場:名張産業振興センターASPIA)	一般社団法人名張青年会議所	7人
令和4年9月16日(金) 午後5時00分～午後6時30分 (会場:近畿大学工業高等専門学校)	近畿大学工業高等専門学校	11人
令和4年9月22日(木) 午前11時00分～12時15分 (会場:英心高等学校)	英心高等学校	9人
令和4年9月27日(火) 午後4時15分～午後5時30分 (会場:名張高等学校)	名張高等学校	9人
令和4年9月28日(水) 午後4時00分～午後5時15分 (会場:名張青峰高等学校)	名張青峰高等学校	11人
令和4年9月29日(木) 午後7時00分～午後8時30分 (会場:名張市役所)	若手農業者 ※伊賀地区指導農業士会(名張地区・50歳前後の方)	4人
令和4年9月30日(金) 午後3時00分～午後4時15分 (会場:名張市役所)	地域づくり代表者会議	15人

※令和4年10月27日(木)に、伊賀つばさ学園での開催を予定しています。

3. その他

本資料は、意見交換会での参加者の皆さんからの意見を抽出・要約して、まとめています。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年8月6日(土)午前9時30分～午前11時00分

場 所:FLAT BASE(名張市元町)

相手方:一般社団法人 つなぐ 大学生メンバー及び同世代の社会人 5人

Q:名張の好きなところ・嫌いなところ

	好き	嫌い
1	・車があれば生活できる ・近くに川と山の風景がある	・徒歩や自転車での行動がしづらい ・車が多くて歩きにくく危ない ・車がないと生活しづらい
2	・家の庭でプールやBBQをしている (子どもやおばあちゃんが居て良い)	・大阪や名古屋へ行くのに遠い
3	・夜が静か(大阪はずっと車の音) ・安心して暮らせる(防犯面など)	・坂がきつい ・自転車で駅に行くのは困難 ・車ない人はバスだが1時間に1本
4	・大阪、名古屋へ行きやすい(近鉄)	・自宅付近にカメムシが多い
5	・治安が良い(酔っ払いや裸足の人はいない) ・新田に草のトンネルの場所がある (トトロに出てきそうな雰囲気)	・大阪に行くのが少し遠い

Q:普段は何をして遊んでいるか、趣味も含めて。地元のこだわった店に行くか。就職はどうするか。

○通学帰りに買い物(服)や食事に行く。就職は名張市内で考えている。大阪に住みたいとは思っていない。大阪の匂い、その環境に慣れたくない。名張のきれいな空気の中で暮らしたい。大阪で遊ぶことより名張に住むことを優先。地元は、カフェや居酒屋など个性的なお店に行く。

○大阪の大学へ通学。興味がある音楽イベントが大阪ではある。多いときは、月4回音楽イベントに行く(ライブハウスが多い)。

○友人と仕事帰りに食事に行く。奈良・津・鈴鹿・四日市方面へ車でラーメンを食べに行く。名張市内はチェーン店が多く、あまり行かない。

○お酒を飲むのが好き。大阪・名古屋に行く。熊野に比べると大阪・名古屋は近い(土日に行く)。

○ラーメンをよく食べる。市外へキャンプやサウナに行く。

Q:10年後(30代)どんなライフスタイル(生活)をイメージしているか。

- 子どもが欲しい。多くてもいいが3人がベスト。10年後、3人の子ども、キャンプなどで遊びたい。名張で住んでいるイメージはある。
- 自由がいい。今のままがいい、結婚せず。周囲に離婚している人が多い。40歳ぐらいなら結婚してもいい。子どもがいるイメージは40代になったらいいかな。10年先に名張で住んでいるイメージはある。
- 10年後、結婚していたら良いなと思う。今は仕事。名張で自宅サロン(美容関係のお店)をしたいと考えている。名張でも自宅サロンが増えてきている。
- 大学で保育学を学んでいる。大阪の「親子カフェ」(ママはゆっくり、子どもはおもちゃで遊ぶ)でアルバイトしている。こんなコミュニティづくりがしたい。子育て支援に興味がある。名張で住むことはイメージしていない。大阪府内で住みたい。
- 空き家を何とかしたい。このことを仕事として取り組みたい。旧町の古民家を改装して住みたい。30代で結婚はしたくない。自由に。時間とお金を自分に使いたい。

Q:20代・30代のライフスタイルをイメージした時、地元の人をイメージするか。

- 自宅では地域をあまり感じない(自宅は、生活空間、家族の時間・空間)。旧町なら“大学生としての自分”が地域の人と接している。
- 自宅付近の犬を散歩している人とは少し親しい。他の方とは挨拶程度。
- 知っている人は多い気がする。祖母が近くに住んでいるが、近くの小学校で一緒に卓球をしている。草刈りも祖母と一緒にやっている。
- 隣人の外国人の方と挨拶する程度。
- ラジオ体操で地域の方と付き合いあり。

Q:地域のお祭りに関わりがあるか。

- 関わっている。名張学園祭や桔梗が丘の祭りなど友人と一緒に。
- 高校入学以降、そんなに参加していない。
- 最近コロナで祭りが実施されていない。正月明けのどんど焼きに行くぐらい。
- 土日大阪に行くことが多く、名張の祭りには行ってない。3年前、熊野の花火に行った。
- 仕事で関わるぐらい。

Q:10年後、名張市がこうなっていればいいなと思うことは何か。

- 空き家を何とか活用して若い人が買い物できるようなまちであれば良いなと思う(旧町をイメージし、古民家の魅力を活用して)。住宅地の空き家をどうするか。

空き家があるが空き家に入らず、空き地に新しい家が建ち始めている。空き家に入ってもらえるような仕組みがあれば。

○保育園・幼稚園が減っている。子どもがいるまちであってほしい。子どもならではの活気というものがあると思う。

○自然な感じが好き。キャンプ場、アスレチック。子どもが自然に触れることのできるまちであれば。自分の子どもには大阪に染まってほしくない、自然な感じで伸び伸び育ててほしい。

○飲み屋街を増やしてほしい。若い人がたくさん集まる飲み屋を。夏はビアガーデン。

○名張が何かで有名になるにはスターがほしい。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年8月9日(火)午後7時00分～午後8時20分

場 所:名張産業振興センターASPIA4階会議室(名張市南町)

相手方:名張商工会議所青年部 8人

Q:名張の良さはどこにあるか。

- 10年前に移住してきた。全国8都市で住んだが名張が一番住みよい。生活動線の豊かさを感じる。国道165号線に出れば全ての買い物ができる。駐車場も広く、半日で買い物等の用事が済む。国道165号線から車で5分行けば青蓮寺等の自然がある。意外とその辺りがPRできてないと思う。
- 鳥取、大阪に仕事の関係で住んだことがある。経済面で考えると、大阪、滋賀、奈良、名古屋にも行きやすいし、近鉄沿線である。ただ、他府県の友だちには紹介(説明)しにくい、これというものが無い。お金を落とす場所がないというのが良いところでもあり、ウィークポイントでもある。
- 大阪に住んでいた。ゴチャゴチャしているのに疲れた。(若い人たちが)ずっと定着するのは難しい。一旦出るのは仕方ない。しかしゴチャゴチャしているのが嫌な人もいるだろう。「遊び」だけじゃなく、自分の時間など何か考えた時に名張辺りがちょうど良いというのがあったかもしれない。距離的にも大阪にも行けるし、車が乗れたら何でも揃う。高齢になれば住みにくいかもしれないが30~40代には住みやすいのでは。
- 事業の80%は市外の取引で20%が市内。京都・名古屋との取引が大きい(1時間30分圏内)。支店・営業所を置かずとも管理ができる距離感である(大阪は商圏が大きいため拠点あり。)。固定費を考えると地の利がある。名張は他から来た人を寄せ付けない印象がある。攻めやすくて、攻められにくい印象がある(※他府県の事業者が名張に商売に入ってくるのに、逆に、名張から他府県には行きやすいという意味。)
- 入札制度で地域貢献が評価されていない(総合評価制度が導入されていない)。
- 県外出身。(県内の)大学に入学し、大阪で10年居て、名張に移った。(※配偶者が名張の方)。40代では、外に出て名張に戻ってきてる方も多いと感じる。
- つつじが丘は幼・小・中まであり、子育てしやすい。大阪・名古屋の中間点。メインは名張・伊賀での仕事だが、大阪・京都・滋賀など1時間~1時間30分程度の商圏の範囲が名張は広いと感じる。業種によって違うが、(市外・県外に)攻めやすいが、名張には入りにくい・攻められにくい特性があるように思う、奈良や鈴鹿等

からも来てはいるが。

○津、大阪、京都は1時間～1時間30分程度で行ける、広島、横浜などへは3時間程度で移動可能。名張は日本の中心にあると最近感じる。名張の良さは都会が近い田舎。

○車があればどこでも行けるし、1時間～1時間30分程度で大阪・名古屋に行ける。仕事面でお客さんとお話をすると、事業所の息子さん・娘さんが東京に出てる人が多い。後継ぎを見込めない人も多い。大学から東京に出てそのまま東京で就職される方も多い。仕事でお客さんと接すると、伊賀の方は決断が早いですが、名張の方は慎重派が多いイメージがある。名張もぶどうやメロンがあるので、もっと農産物を出していけば良いと思う。

Q:市外の方に「名張はどんな所、何がある」と聞かれた際、どのように答えるのか。

○滝と山。

○県内の団体の方との名刺交換等を行う中で、伊賀酒・伊賀米・伊賀牛が、伊賀市の特産品と思われることが多々ある。名張独自のものとして、ぶどう・メロンがあるがインパクトが弱い。「伊賀＝忍者」など、伊賀市は長けているところがあると感じる。

Q:若い世代が名張に定着するには。進学・就職が理由で転出した10代・20代が名張に戻ってきてもらう、振り向いてもらうには。

○大阪に居た頃、ネットで田舎暮らし専門不動産で家を探した。奈良への引っ越しを考えていたが、針IC付近の物件しかなかった。そのような中、赤目を紹介された。空き家バンクはどこでもやっている。こっちに来たい人は、田舎暮らしをしたいと思っている人と思うので、そういう人たちの目に留まるような取組が必要。名張は大阪から来訪しやすいので、簡単に見れる方法があれば良いかもしれない。

○憧れで田舎に行くより、名張は住めば都。なかなか住んでみる機会がないので、そのような機会があれば良いのではないか。

○移住を考えると、「何かをするために移住する」というのがあるのではないか。「何かをするために」の「何か」を創らないといけないのではないか。私は若い時にサーフィンをするために千葉県内に4年間移住した。「若者」をターゲット層にするなら「スポーツ的なもの」がイメージしやすい。何かを創らないと、単に「自然がある」、「空気が良い」だけで若い人は来ないと思うので、何かに特化したものが必要ではないか。「どの層をターゲットにするか」、「何のために」、「今あるものを使うのか。何か新しいものをつくるのか。」等の視点が大切と思う。

○名張市は情報発信が上手ではないと思う。子どもの診察代は窓口で支払わなくていいのに、名張に住んでいる人がそのことを知らない。子育て支援の情報をまとめて発信すると子育て世代の移住につながるかもしれない。その中に、産業基盤があり、今取り組んでいる中学校給食もできていけば、より良いまちになると思う。名張市に YouTube チャンネルがあることも知らなかった。こういうところもPRできていないと思う。

Q:今後10年の思いや夢はどうか。10年先のライフスタイルをどう描いているか。そのイメージの中に名張はあるか。

○今の仕事と違う仕事(副業)もしてみたいと思っている。今のところ名張で住んでいたいと思っている。老後は南の島や山奥か、病院が近くにあるところなど色々考えるかもしれない。

○10年後も20年後も名張に住んでいると思う。築瀬水路は良い観光資源になると思う。

○若い経営者が名張は少ない。商売が軌道に乗らず青年部にも入ってもらえない。名張の中でお金が回っていない。若い人たちが力を付けるためにも、宇陀市や伊賀市と組んででもお金が回る仕組みが必要。若い人たちが「商売ができる！」と思えるような環境があると住んでみようかと思うし、そのような環境を作ってほしい。市と商工会議所が連携して、起業しやすいような環境、若い経営者が商売をしても継続できるような仕組み、名張でお金が回るような環境づくりに力を入れてほしい。

○10年先も名張市と考えている。今以上に外貨を獲得し、名張に落としていくことも考えている。しかし、名張のお金を他所に持っていかれるのは苛立ちを感じる。地域貢献も持続可能性を出してほしいと考えている。メリットを設けてもらいたい。地域貢献に対しての評価をしてもらいたい。正当に評価をしていただき、地域内にお金を回してもらいたい。

○仕事が名張の方がお客さんなので、10年後住んでいると思うが、さほど未練はない、住みよいと思うが。志摩市は離島でオンライン診療が発達してきており、オンライン診療に馴染むしか方法がない状況にある。若い世代をターゲットにするならデジタル化で簡単にしていくことが必要だと思う。

○近い将来、名張で工場を設立したいと考えている。商売上の目標として、名張を拠点に色んなところに商品を出していきたい。それから、鈴鹿の方と食事をする機会があったが、旧町の雰囲気が良いと言っていた。

○20代の奈良の人と一緒に仕事をすることが多い。今、ここに居ながら、東京・大

阪の仕事ができるかもという雰囲気若い人たちの間である。残りたいけど、東京や大阪に行くべきか迷っている。10年先、納税してもらえる世代なので、支援金で何とかいま名張で会社を作らせたいと考えている。奈良の遷都のイベントの際、奈良は300万円の支援金を準備し、大阪や神戸から飲食店が入ってきたと聞く。パンチのあるインパクトのある支援があれば良いなと思う。デジタル系の仕事をする若い人たちは、田舎に居ながら都会の仕事をするということに少し憧れがあるようだ。

- 母子家庭の世帯が多いと感じる。自分の子どもと同世代の子どもたちを見ると、母子家庭の子どもたちが、学費捻出ができず就職したという話を聞いた。そのような子どもたちを支援し、名張から学校に行くことができたとなると、名張に定着してくれるのではないか。また、名張ではシングルマザーが働ける場所が少なく、伊賀市や奈良方面に行ったりする。自ずと子どももそっちに行ってしまう。母子家庭は名張に居づらいのではないか。スポーツ推薦でも金銭的な理由で就職せざるを得なかった話も聞く。下支えができる支援があれば名張に定着できたのではないかと思ったりする。子どもたちをバックアップし、IターンやUターンを促す支援が必要ではないか。
- 名張の飲食店を目的に来るとい人がいない。フランチャイズが多く、飲食店においても外にお金が流れている。名張にお金が落ちるような飲食店の定着が必要だと思う。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年8月22日(月)午前10時00分～午前11時30分

場 所:赤目四十八滝キャンプ場 研修棟(名張市赤目町長坂)

出席者:一般社団法人 滝川YORIAI 5人

Q:法人の設立時期は。また、これまでどのような苦労があったか。

○設立は2019年3月。私たちは地元育ちであり、ちゃんと話をするとご理解いただける。中に入らせていただき、順に進めさせていただくことで、年配の方が私たちを持ち上げてくれ、苦労よりも助けていただいたことが多かった。

Q:地域づくり組織の皆さんとはどのような点で円滑にやってこられたのか。

○赤目は受入体制が整っていたと思う。年配の方が基準の時間設定(会議等)を、若い世代が参加しやすい週末の夜の時間に変更いただくなどで入りやすくなった。また、若い世代でキーマンになる方が入れば、そのつながりで同世代が入ってくれた。

Q:青年会の主な活動内容は。

○赤目では転出者もいるが、同級生や小学生時に一緒に遊んだ同世代の方が比較的残っており、しかし接触機会が少なかった。“つながり”が始まると、同級生や近所の方、祭り等の小さいコミュニティからどんどんつながっていった。青年会は強制力のない“つながり”を主にしており、コロナ禍で青年会としての活動は控えていた。

滝川YORIAIや、竹灯りプロジェクト、地元でイベント開催したいなど、青年会でつながった者同士が声を掛け合い新しい動きをしている。

Q:青年会としての定期的な集まりは。

○年1回赤目キャンプ場で集まる。みんなでBBQ開催、近況報告など。それぞれがプロジェクトで活動している。グループLINEでつながるなど声掛けしやすい状態にある。コロナで流れたが、夏祭りの手伝い等の呼びかけも行っていった。

Q:一般社団法人 滝川YORIAIの主な活動内容は。

○主にはキャンプ場の管理運営。コロナ禍でキャンプ場のお客さん受入れが困難な状況もあり、活動の原点である地域の声を聴かせていただき、空き家に不安なお声を聴いたので、活動拠点を駅周辺に移し、空き家活用に取り組んでいる。現在、

たこ焼き屋(※)をしているお店も空き家で、地域の皆さんが集まれるコミュニティの場として空き家改修を行った。業者に依頼せずみんなで汗を流しながら改修した。また、地域の大学生が地域の子どもたち(小中学生)に学習の機会を提供する場として、もう1軒の空き家を買取し使用いただいている。

※隣の商店(惣菜等販売)と連携し、地域を巻き込んだ取組を展開

Q:一般社団法人 滝川YORIAIの今後の目標は。

○知人の子どもから「地元が好きだが働くところがない。出て行かざるを得ない。」という声を聴いた。若い人たちが活躍できる場、その拠点を創りたい。

Q:(キャンプ場で)ワーケーションやテレワークを展開されてなかったか。

○企業・個人とも名古屋や大阪からお越しいただいた。今夏は宿泊対応が忙しく抑えている。名古屋・大阪の中間点であり、同一企業内で名古屋・大阪の方がここで待ち合わせをされ、ご利用いただいたケースもある。思ってた以上に需要があると感じた。今秋に向けて問合せもある。

○テレワークプランは平日限定で1人3,000円。やり始めたきっかけは、コロナ禍で友人が自宅で仕事をすることに疲れが出ると聞き、名張市内の方限定でテレワーク応援プランをスタートさせた。また、プラン設定していなくても、ご夫婦での宿泊者が仕事をしたいということでバンガローに宿泊された。

Q:青年会の今後の目標は。また、竹灯りプロジェクトは、青年会として全面的にやっているのか。

○設立メンバーの方と色んなことをしたいと考えている。しかし、コロナ禍で集まることができている。

○名張SDGs竹灯りにキャンプ場として入っている。青年会を一緒に立ち上げたメンバーが、赤目の竹灯りの代表をしている。足並みは揃えながら一緒に進めており、会議とかではなく日頃から情報交換をさせてもらう機会が多い。

Q:年間通じてこの地を訪れる環境を整えば、さらに広がりができると思う。

○ソフト面は地域で考えるが、来訪者が駅からここまで訪れやすいアクセスのハード面は、以前から申し上げているが、インフラ整備は大切である。行政の力が絶対必要になる。

○住民の意見がまとまらないので、市長が行政として地域の人たちに向けて話をされる機会を設定してもらいたい。

- 赤目では、自分から何かを発言してイニシアチブを取ってやるというのがなかなか難しいと感じている。行政主導で旗を振ってやってくれということは地域の人には誰一人として思っていない。前に進むであろう一つのきっかけを与えることで進む地域はどんどん進むと思う。
- ワールドカフェのようなものを開催いただき、地域住民みんなで考えるきっかけを与えてくれたらと思う。赤目でワールドカフェを開いた際、すごく前向きな答えを出していただいた。話し合う場を何か一つ行政側から提供いただいたら、その後は動いていくと思う。
- 行政とタイアップし、またこちらでも考えていくので、きっかけを作る手立てを考えてもらいたい。

Q:他に赤目のことで何か聴いておくことはないか。

- キャンプ場にお越しいただくお客さんから、ここが気に入ってこの地で何かチャレンジしたい、名張に移住したいという声を聴かせていただいている。チャレンジできる場所について、協力しながら進めさせてもらえたらと思う。赤目には既にチャレンジしたい方が多く来ており、色んなお店を開いている。まだまだ秘めてる部分があると思うので、今やっていただくことで絶対集まってくるので整えていきたいと思っている。地域みんなでまとまって声を上げてくれということであれば、私たち若い世代が声を上げていきたい。チャレンジしたいと思う人がチャレンジできる場所にしていきたいと思っている。

Q:チャレンジの中身はどのようなジャンルか。

- 基本的に生業として成立しないと継続しないと思う。生業として成立することがまず目指すところと考えている。日本有数の観光地で、色んな方が来ていただけると思う。ビジネスチャンスはあると思う。市も地域もWin-Winの関係が築けると思っている。
- 大学生がチャレンジしたい、ここで住みたいけど仕事がない。家でやりたいことや若いうちに挑戦したい、そういう場を創りたいし応援したい気持ちが高い。ここで仕事ができる雰囲気を作りたい。青年会やYORIAIでよく出すワードが、「子どもや下の世代が住みたい」という未来に向けての話を。まちづくりの方と見ている方向が同じだから摩擦なくいけてると感じている。

Q:大学生に地域づくり、まちづくりに関わってもらおうと考えている。皆さんのところに4~5人学生が来たとすれば、YORIAIのお手伝いやまちづくりに関わらせてもらうことは可能か。

○赤目のまちづくりで、地域の子どもたち(小・中・高)主体にどのような夏祭りが良いか企画してもらい、それを大人たちが支援しながら、自分たちがやりたいことを形にするということを夏祭りで行おうと考えていた。そのプログラムの中に大学生が入り、地元の子どもたちと一緒に進めるということは可能ではないか。

Q:「名張に残りたいが仕事がないから出て行く」、「名張にいたくないから外に出る」という人もいる。名張の環境が今のままでいいのか、足りないものがあればそれは何か。

○美旗地域に住んでいたが、今も地元で商売している方もいて、半分ぐらいは名張に残っている感じである。上の子どもが大学生だが、名張に戻ってきたら遊ぶところがないと言う。出て行きたいという夢は持っているかもしれないが、名張は住みやすいから不満もない。

○名張市の少子化対策関係の会議に参加している。進学で名張から外に出て、その時にできた彼氏と結婚となった際、名張に戻るのではなく相手の方に付いてそのまま結婚すると。出会いが外になっているので、名張に戻ることがないと聞いた。コロナ禍の影響か、出会いたいが出会う機会がないという話も聞いた、お付き合いに発展するまでの接触機会がないと。街コンみたいなイベントではなく、まちづくりというような大義名分がある中で自然に集まり出会いたいという意見もあった。接触機会が減っているから出会わせてほしいが、自然な形で出会わせてほしいと。高校生や大学生以下を対象としたワールドカフェ等を開催すれば、自然に出会う場をセッティングしていることになり、未来の前向きな話もできるのではないか。参加するだけでつながりやお付き合いが広がるという場の設定が必要ではないか。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年9月15日(木)午後6時00分～午後7時15分

場 所:名張産業振興センターASPIA4階会議室(名張市南町)

出席者:一般社団法人 名張青年会議所 7人

Q:どんな名張であってほしいと思うか。

- 同級生がほとんどいない。大学受験で散らばり、そのままその先で就職。ほとんどが東京・大阪に出ている。なかなか集まらない。同世代がずっと名張に居れるような働く場づくり、魅力あるまちにしてほしい。
大阪で住んだこともあるが肌に合わなかった。「働くのは都会」で「住まいは名張」。子どもにとって名張の環境は良い。自然があつて、人も良い。
桜井駅前にある遊び場(ひみっこパーク:ボールネンド社プロデュースによる室内遊び場。2019年5月オープン)に行ったりする。子どものためにお金を落とす場所が名張にあれば良いと思う。
- 昨年子どもが生まれた。住宅購入や子どもの教育を考えるようになった。家を建てるとなったときに、川の氾濫、防災ハザードマップの関係など、より安心して住めるまちになったらいいなと思う。子どもを外で歩かせるに当たり細い道でもスピードを出す車が多い。危険と感じる。
かぼちゃ公園、カルチャーパーク、朝日公園もあるが、気軽に子どもと遊べる空間、行ける所があれば。休日に桜井市に行ったりする。そういう場所が名張にあれば。ずっと関東で暮らしたい気持ちもあった。自分の道を行きたい気もあったが長男という使命感もあり家業を継ぐため戻ってきた。住めば都。少しずつ地元愛も芽生えてきた。でも戻ってきて最初の2～3年は、平日でも大阪へ友だちに会いに行っていた。住みやすいまちではあると思う。結婚してからはいいと思う。独身で遊びに行きたいというのは他県となる。
- 名張で2年間働き、大阪へ出た。事情があり名張に戻ってきた。いずれは名張に戻ろうという気持ちはあった。名張は住み慣れていたし、高校は名張ではないが、友人も多く住みやすかった。市外に出ている同級生は半分ぐらいか。
名張は医療が手薄と感じる。市立病院の規模が小さいと思う。事故や病気の時の対応に不安を感じる。
名張は車さえ乗れば生活するのに苦はない。車が乗れなくなった時、どうなるか不安を感じる。
- 昨年度は、鳥取県境港市の市役所職員(まちづくり関係の仕事がしたいため、現

在、市役所を退職し起業された)がJC会長として活躍されていた。伊賀市でも市役所職員がメンバーになっている。夏のキャンプは、元々市主催であったが継続が困難となり、それを市職員であった名張JCメンバーが2010年頃からJCに持ってきて実施している。(※コロナで2~3年ストップしているが、2023年度は実施予定。)。市職員がJCメンバーにすることで事業面で連携しやすい。

今年から日本青年会議所が「ベビーファースト運動」を進めている。「子どもを産み育てやすいまち」を宣言するものである。今回の機会を通じて、名張市にも「ベビーファースト宣言」をお願いしたい。

遊ぶところが少ない。「子育てしやすいまち」と感じにくい。

○3年前に名張に戻り家業を継いだ。今でも不安。不安がなくなるように頑張っている。それまでは愛知県で働いていた。市外に出て戻ってきたが、良くも悪くも名張は変わってないなと感じた。

同年代は市外に転出する人は多く、名張に戻る気はなさそう。どういう仕事があれば名張に残ってくれるかなと思う。

○大学で市外に出たが、卒業してすぐ家業を継いだ。やりたいことはあったが、継ぐしかないと思っていた。

Q:都会化した方が良いか。

○大阪や東京のような都会化はしなくてよいと思う。

○移動はしやすい、位置的には中途半端だが。ベッドタウン的な位置で良いかなと思う。

○名張は元々ベッドタウンで1軒家が持てるまち。若い人はお金がない。だからこそ名張なら1軒家が持てる、というPRでも良いのではと思う。

○伊賀市は個人店が多く、名張はフランチャイズが多いイメージがある。

○「子育てしやすい」、「ファミリーのまち」のイメージがない。

Q:ファミリーなイメージには何が必要か。

○明石市のイメージがある。

○「都会ならこんな家にしか住めないが、名張ならこんな家に住めるよ」などの差異がある。今リノベーションが流行っている。その辺りが活用できれば。

Q:名張で働くことについて。

○仕事にバリエーションが必要。

○コミュニティを広げたいため名張から出た。(14年前に名張に戻り)市外に出て分

かったことは「どこに居ても働ける」と感じた(システム関係の仕事)。都会の方が情報は多いので、そのための技術を身に付けるには都会しかないので一旦市外に出ざるを得ない。

○職種は少ないと感じる。

○スタートアップ支援(起業支援)のまちを目指しても良いと思うが、15年程度要すると思う。起業支援はあっても良いと思う。先輩を見ている家業を継いでない方が多い。家業を譲らない2代目、3代目というイメージがある。スタートアップ支援、2代目・3代目用のベンチャー型事業承継、そういう方向性の支援が行政単位でできるならば良いと感じる。他地域では「家業内独立」をされる話も聞く。

Q:同級生が「たくさん残っている」、「外に出てしまった」と人によって感じ方が違う。実際に世代によって数が違うのか。

○仲の良い人、主となる人(リーダーとなる人)が名張にいるかいないかで印象が違ってくるかもしれない。

○昭和58年生まれの子は、県内でも名張中学校が一番生徒が多い時期で北中学校が県内2番目ぐらい。パワーがあった世代かもしれない。

○家族のいるところで住みたい理由で戻ってきている同級生も居る。人との関係で生まれてくるものもある。

Q:小中高の仲間の輪がつながっている状態であれば名張に残ろうと思う人も多くなるか。

○そういうケースも理由の一つになるかもしれない。

○逆に、都会ならたくさんのコミュニティがあり、あるコミュニティでの関係性がだめになっても、違うコミュニティに移ることができる。名張ではコミュニティが狭いので、過去の出来事等で触れられたくないことがあっても逃げ場がないと思う。(コミュニティの選択ができない。)

○大阪など市外に行けば、過去の自分を知らないのも、新しい自分で生きることができる。18歳までの人間関係が影響することもあると思う。

○最近ネットがつながって、外に出ないケースも増えていると思う。

○若い人たちが活躍できる場が必要かもしれない。祭りなど。

Q:最後に何かご意見等はないか。

○市役所職員とJCがもっと密接になればと思う。若手市職員にJCに入ってもらいたい。伊賀JCには市から1人入っている。卒業されて、新しいメンバーと入れ替

わっている。

○名張市主催で何か面白いイベントがあれば良いと思う。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年9月16日(金)午後5時00分～午後6時30分

場 所:近畿大学工業高等専門学校(名張市春日丘)

出席者:近畿大学工業高等専門学校 学生11人

Q:名張の好きなところ・嫌いなところ

	好き	嫌い
1	・三重県から大阪に行ける距離。	・津から通学。電車の本数が少ない(名張→津は40分に1本。日中は1時間に1本。) ・名張駅東口ロータリーがタクシーやバスの乗り入れで狭いと感じる。
2	・飲食店やスーパーが集まって生活しやすい。	・服を購入したい店がない。 ※奈良・津に買い物に行く。雑貨が好き。
3	・松阪から通学。名張から大阪へ行くのは楽。大阪は買い物もでき若者には魅力のまちだが、住みたいとは思わない。	・電車の本数の少なさ、バスの遅延が多いと感じる。バスの5分遅れが電車待ち40分となる。
4		・東大阪(布施→名張)から通学。 ・名張では遊ぶ場所がない(カラオケぐらいでバリエーションがない)。大阪の商店街のように見て楽しめる場所があれば。
5	・授業の関係で市内(まちなか)を歩く。大阪にはない「水路」や「ひやわい」があり、探るのが楽しく秘密の場所のよう。	・名張で一人暮らし。坂が多く自転車が使用しにくい。 ・通学はバス利用。遅延(10分遅れ)がある。乗り遅れかバス未着か分からない。バスの現在地が分かれば慌てなくて済む。
6	・川や山など自然が多い。散歩していても気持ち良い。	・都会に比べ友人と遊ぶ場所や買い物する場所が少ない。
7	・自然豊か。リフレッシュして学校生活を送ることができる。 ・近い距離で自然を感じられる。	・交通の便が悪い。 ・小学生と下校時間が重なる時がある。つつじが丘からくるバスの乗車に当たり、近大高専最寄りのバス停から一つ下で乗車する。帰宅時の小学生向け臨時便があればと思う。
8	・田舎で静かなところが良い。	・(百合が丘⇄つつじが丘を車で行く際)青蓮寺ダムの道路で対向しにく

		い箇所がある。
9	・食事や遊ぶ場所(カラオケ)が夏見に集中し行きやすい。	・遊ぶところがカラオケしかない。映画館があれば。
10	・ずっと名張に住んでいる。良くも悪くも“ある程度落ち着いている”という感じ。自然もたくさんあるが、買い物もでき、自然(田舎)過ぎない。	・パツとしない。名張で何かをすることが思い付かない。 ・名張駅から電車に乗車する際、インパクトがない。大阪から名張に向かう際は、駅を出ですぐにビルがある。シンボリックなものがあれば。 ・「名張に何がある」と聞かれると答えづらい。
11	・生活上不便を感じない。遠征で地方に行くと飲食店ばかり。名張は色んなお店があり、生活はしやすいと思う。	・店舗が夏見に偏っている。坂も多く、車がないと移動が不便である。

Q:10年後、どこでどんな暮らしをしたいか。

- 伊賀市で就職が決まっている。名張から通勤し、10年後も名張にいると思う。今の暮らしがずっと続いていたら良いと思う。(国道368号の)2車線を早く作ってほしい。
- 就職も決まり近畿圏内に配属される予定。県外で暮らすことになると思うが、一人暮らし(平日)と、津に住む家族(土日)を大切にしたい気持ちもあり、両立させたい。
- (4年生なので)就職先は決まっていない。住宅や建築関係の仕事に就きたい。仕事もがんばり、プライベートでも結婚したいと考えている。住宅デザイン関係の仕事は魅力的と感じており、ずっと名張なので、市外に出てみたいと思っている。
- (建築関係)施工監理の仕事をしたと考えている。10年後は仕事にも慣れていくと思うが、「帰りたいと思う家を作りたい」という気持ちを忘れずにいたい。現場に出て仕事がしたい。外に出て自分の足で色んなことがしてみたい。
- 専攻科に進学予定で、あと2年半通学する。最終的には、祖父が作った会社を継ぐ予定である。
- 近畿大学への編入(大学3年生)を予定している。近畿大学では都市計画を学ぶ予定で地元(名張市外)で都市計画関係の仕事に就きたいと考えている。10年後は家庭をもち、週休2日の定時帰りで子どもとの時間を作り、楽しく過ごせたら良いなと思っている。
- 来年度から進学で大阪に住む予定。将来は設計事務所で勤めたい。長く住むなら、大阪のように人の多いまちではなく、四日市のように、都会ではないが田舎でもないちょうど良い感じのまちに住みたい。

○関西圏への就職が決まっている。親が会社経営(市外・インフラ系)しているが継ぐかどうか迷っている。10年後は、分岐点になると考えている。

Q:家族等の制約がないとして、どんなところに住むのが理想か。

○栄えているまちは道が綺麗。道が整備されていたら多くの人も来ると思う。都会の渋滞は車が多いからであって、名張の渋滞は1車線だから。道が不便だから渋滞していると思うので、道路整備をしてほしい。

○飲食以外でも服や趣味に関するものに触れられるまちに住みたい。少し離れたら自然があり、電車で旅行に行けるなど、交通網が整備されているまちに住みたい。

○独身なら住みやすさより便利さ(色んなものが購入できる環境)を意識すると思う。家族があれば住みやすさや治安の良さが気になると思う。名張の状況からすると、家族世帯にスポットを当てた生活が合っていると思う。

○家族がいるとして、自分の子どもと遊べる施設がほしい。名張は不十分と感じる。ショッピングモールのようなものがあれば、そこにまず人が集まり、その周囲(観光施設等)にも行ってくれる相乗効果が期待できると考える。

○家庭を持ちたいと考えているが、両親は共働きで、小さい頃は保育園のお迎えも祖母がしてくれていた。自分が子育てすることを考えたとき、子育てしながら働きやすい環境があれば、その子どもが育っても、その子が家庭を持つときに、地元で子育てしやすいから残ろうという気持ちになると思う。子どもを保育しやすい環境が欲しいと思う。

○都会に住んでいたら疲れると思う。少し田舎ぐらいのところが良いが、ただ名張は遠い。自然が残っていて、少ない時間で都会まで行けるまちに住みたい。

○「名張にしかない仕事」を増やせば、市外からも来てくれる。例えば、ぶどう畑へのドローンによる農薬散布など、まだ普及していない名張のまちに合った相性の良い仕事を増やしていけば、若い人が増えると思う。若い人が活躍できた方が良い。そのような仕事を見出していけば良いと思う。

○田舎と都会を行き来したい。名阪国道をつなげてほしい。

○都会過ぎるところには住みたくない(匂いや騒音が嫌)。仕事もできる限り住居から近いところが良い。交通の便の良く、今の居住地(奈良市内)に住み続けたいと思っている。大きい公園もあり、子どもができたときには一緒に遊べると思う。

○名張には働く場所や買い物できる場所がない。現実的ではないが、大きいビルをつくり、働く場所と買い物できる場所があれば、シンボリックなものが必要と思う。

○将来、クライミングに関する仕事に就きたいと考えている。色んな場所に行く必要があり、家にいる時間が少なかったり、洗濯が大変だったりする。住み続けること

よりも、色々な場所に行きやすかったり、帰ってきたら安心するような落ち着けるまちに住みたい。

Q:最後に何かご意見等はないか。

- 夏見のテニスコートはいつ整備が完了するか。
- 名張市のチャレンジ支援事業を卒業研究のテーマにしている。年々、支援の上限額が引き下げられていると聞いた。市外からの移住の観点から、チャレンジ支援事業の内容が、古民家カフェなどこれまでにないような支援をしてきたと思うので、また力を入れれば、名張に住んで起業したいと思う人が来られ、人口が増えるのではないかと思う。
- 卒業研究で「地域活性化」をテーマとし、仮想空間(メタバース)を使って地域活性化を図ろうと考えている。メタバース内に名張のまちなみをつくり、そこに世界中の人たちが訪れることができるようにし、名張の紹介や何があるかを伝え、名張に興味を持ってもらうことで、観光に来てもらうこともできると思う。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年9月22日(木)午前11時00分~12時15分

場 所:英心高等学校(名張市桔梗が丘)

出席者:英心高等学校 生徒9人(各学年3人)

Q:名張の好きなところ・嫌いなところ

	好き	嫌い
1	・スーパーが点在している。車があれば好きなところに行ける。	・坂道が多い。 ・遊び場所(カラオケなど)が少ない。映画館があれば。
2	・お店がありコンビニも万遍なくある。	・坂道が多い。 ・お店が密集している。もう少し分散していた方が良い。
3	・ずっと住んでおり愛着がある。 ・買い物がしやすい。	・徒歩で移動がしにくい。
4	・住んでいる人との距離感が近い。畑をしている人が野菜を沢山くれる。 ・寄りたい店が多い。	・車があれば便利だが、電車の本数が少ない。住宅団地から駅まで遠い。 ・行っていたゲームセンターがなくなり寂しい。友達と集まっていた場所だった。
5	・自然が豊かな。空気がおいしい。 ・帰ってきたら安心できる	・交通面で大きな道がなく、伊賀市(名阪国道)まで出ないといけない。
6	・自然が大好き。昔、川遊びに行き、オオサンショウウオがいた。都会には絶対ないこと。	・リクガメを飼育している。近くに爬虫類ペットショップがないので困る。
7	・各地域に公園がある。小さい子どもがいても遊べる。 ・大阪や奈良、名古屋に行きやすい距離。	・学生なので車が使えない。車がないと移動できる範囲が限られる。遊べる範囲が狭い。
8	・ディスカウントストアがある(ネイルチップ、化粧品が沢山ある)。食料品が安い。	・坂道が多い。
9	・自然豊かで緑が多い。心地良く、癒しがある。	・遊ぶところがない。桔梗が丘駅前に遊戯施設や大型店舗が欲しい。

Q:もし私が名張市長ならどのようなまちにしますか

○市民がどこにいても楽しいと思える、笑顔になれるまちにしたい。

○遊び場を増やしたい。小さい子どもが遊べる公園を増やしたい。家の近く(伊賀

市内で自宅から徒歩5分)には公園が3~4か所ある。

- 銅鐸や勾玉づくりなど伝統ある行事・イベントを自分で開催していたことがあり、歴史を覚えることもでき、そのようなイベントを積極的に開催し市民の関心を高めたい。
- バスの運行頻度や距離、回数、ルートを増やしたい。徒歩で行けないので、バスを充実させたい。
- 大阪や名古屋など都会に行ける大きな道が欲しい。
- 友人がバス通学している。バスの待ち時間(乗り継ぎ)で、暑さ・寒さをしのげるようなバス待合室を整備したい。
- 赤目小学校出身で、卒業するころに錦生小学校と統合された。旧錦生小学校のプールで、オオサンショウウオを飼育していた。すごく良いと思うが広く知られていない。これをもっと外に発信したいと思う。近くで見ることができる機会がないので。プールなら大きいので動きも見ることができる。来る人もいると思う。
- 小学生の頃に体験した火おこしイベントも楽しかった。このようなイベントも開催したい。
- 遊べるところを増やしたい。
- サッカーができるぐらいの大きな公園を増やしたい。
- 坂道が多いという意見が多かった。介護の視点から、歩道が続いていないところに段差があるので、その箇所にゴムのようなものを設置し、段差を加工し緩和させたい。
- 身体障害者の方の中には杖を使う人もいる。杖を増やしたい。
- 点字ブロックが潰れている箇所もあるので修繕したい。障害のある方に歩きやすいまちはどんな人にも歩きやすいまち。
- 自宅近くに国道165号線があり事故が多い。信号の増設や歩道橋を設置したい。
- 遊び場を増やしたい。
- 若者向けの服屋がほしい。選択肢が少ない。

Q:自分が将来住みたい場所は。

- まちなかで自然にも触れることができるところ。まちと自然が両立しているまちに住みたい。
- 今住んでいるまち(伊賀市)に住み続けたい。安心できる。
- 結婚して子どもが生まれたら、子どもが生活しやすい場所に住みたい。大人なら車で移動手段は確保できるが、子どもは移動できる範囲が狭い。子どもが住みやすいまちに住みたい。

- 自然とまちが両立したまちに住みたい。
- 仕事をする上で必要な機関の一つと考えているので、メンタルケアをきちんとしてくれる医療機関が近くにあるところを選びたい。
- 住宅街やショッピングできるまちなど、バスや車で「ここに行けばこういうことができる」ということが分かるまちに住みたい。同じような役割を持つ施設が集合しているまちに住みたい。
- 今住んでいる名張が好き。ただ、名張市内でも友人の家に行く時など、徒歩で1時間半、2時間掛かってしまう。徒歩でも近ければと思う。
- 今の名張のまちが好き。
- 交通の便が良くて生活必需品が近くで買えるところに住みたい。
- まちひとつで1日遊べる、休日が楽しく過ごせるまち、平日でもパッと買い物ができるまちに住みたい。

Q:最後に何かご意見等はないか。

- 165号線の交通量が多いところで、向こう側に行きたいのに行けない。また事故もある。信号や歩道橋の見直し・設置を考えてほしい。
- 名張川沿いからジョーシンへ行く細い道が、小学校の通学路になっているが、ここを通り抜けするバイクや車がスピードを出して通ることが多い。速度制限の看板設置を増やしてほしい。
- 地域に公園が点在しているがトイレがない。小さいトイレでもあれば。
- 桔梗が丘中学校が新しい方か古い方か分からなかった。案内板が不足している。
- オオサンショウウオの展示などせっかく良いものがあるので、もっと売り出してほしい。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年9月27日(火)午後4時15分～午後5時30分

場 所:名張高等学校(名張市東町)

出席者:名張高等学校 生徒9人(各学年3人)

Q:皆さんの思いや提案について

※名張高校においては、今回の意見交換会開催に当たり、事前に意見集約シート等を作成されました。関係資料につきましては、本資料の最後に添付しています。

- 美術をやっており、これに関することが名張にもあれば良いと思う。外観や内装デザインについて、名張にしかないような建物を考えたい。観光に活用できるかもしれない。家の外観デザイン、内装の空間デザインに興味がある。ヨーロッパの街並みが好き。昔からあるような建物が好きだが、モダンなもの近代的な建物も良いと思っている。医療にも興味があり、将来は臨床検査技師を目指している。旧町のまち並みは好き、今の住宅団地にはない雰囲気がある。
- スイーツが好き。ぶどうと空飛ぶスイカを TikTok で見かけた。その二つを使い、新たなスイーツを生み出してほしい。若い人はインスタに投稿する。おしゃれなカフェのスイーツを載せるのが定番だが、地元名張のぶどうやメロン、空中スイカなどを使い、かわいいスイーツを作り、若い人のSNSに載って広まれば、名張を推してもらえと思う。
- 子どもから大人まで幅広く楽しめる場所。テーマパークや、ショッピングモールなど人が集まる場所を名張に作れば県外からも人が来る。外国人の観光客も来る。大人が楽しめることを考えると、ジェットコースター等の乗り物があればと思う。
- 名張の食材(特産品)を使った創作料理コンテストを開催する。ぶどうなどがある。市民の人に創作料理を作ってもらい、コンテストの優勝料理を名張名物として売り出していく。食べ物なら子どもから大人まで楽しめる。
- 友だちと遊びに行くにも電車を使うことになる。名張でも遊べるような大型ショッピングモールや、テーマパーク(オオサンショウウオをキャラクターとしたテーマパーク)などを作るのも良いと思う。
- 友だちと出掛けるにもカラオケ、ボウリングしかない。これらは駅からも歩いて行けるが、この2つ以外に施設がない。車がないので遠くに出掛けられない。市外・県外に行ってしまう。中学・高校と自転車通学だが、歩道が急になくなる箇所があったり、街灯が少なく自分の自転車のライトしか光がなかったりすることがある。歩行者や自転車の人にも優しい道路があれば嬉しい。

○名張市内は車がないと移動が大変。バスの本数も、伊賀から名張に来るのに1時間に1本しかない。家に帰ってから名張に遊びに来ることは遅くなるからできない。その点が改善されたらと思う。

○母が車を運転するが、道を曲がる時、草や木の枝が邪魔で、右折・左折が怖いという話を聞いた。環境整備がされていれば事故も減ると思う。

Q:伊賀市と名張市の違いや好きなところについて

○伊賀には忍者がある。電車にもラッピングされている。

○名張は飲食店があるイメージ。伊賀のファミリーレストランは3店舗が閉店した。

Q:今後のライフステージ(進学・就職・結婚等)はあまり考えず、将来住んでみたいまちは。

○名張は道路(道筋)が斜めのところが多い。真っすぐの道路があり、雑草が生えていない植物のあるまちに住みたい。

○待機児童が解消されており、保育が充実しているまちに住みたい。

○以前は大阪などの大都市に憧れていた。人との触れ合いが好き。アルバイトで接客業をしており楽しく満足感がある。人のたくさんいる賑やかなところが好き。

○移動が便利な場所に住みたい。車の免許を持っていないので、バス・電車の公共交通機関を使わないといけない。高齢になって免許返納となった時、病院に行く手段もあった方が良くかと思う。

○自然が大好きで、自然がいっぱいあるところに住みたい。コンビニはあってほしい。

○将来子育てをしたいと思っている。子どもを安心して預けられる場所があることも重要だが、(子育て等で)親も共有したい悩みもあると思うので、親同士が気軽に集まって悩みを言える、子どもたちのことが共有できる場があるまちに住みたい。

○子育てをするかどうか分からないが、子どもが不登校などになった場合でも、学校に行けてなくても、「働けるよ」とか、「また行きたくなったら学校に行けるよ」などの未来の生活に“安心とチャンスを与えてくれるようなまち”に住みたい。

○車がなくても、病院やお店に行きやすい便利なまちに住みたい。ショッピングモールもあれば良いと思うが、サザエさんの買い物に行くシーンを見ていて、商店街の人たちとコミュニケーションをしている楽しい場面を見て、そういうことが無くなっているのかなと思うので、それが今後もあったらいいな、そういうところに住みたいと思う。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年9月28日(水)午後4時00分～午後5時15分

場 所:名張青峰高等学校(名張市百合が丘)

出席者:名張青峰高等学校 生徒11人(全員2年生)

3. 意見交換会

Q:名張の好きなところ・嫌いなところ

	好き	嫌い
1	・フルーツ(美旗メロン、ぶどう)は、他地域にアピールできる。	・高校生の遊ぶ場所がない。集まる場が欲しい。
2	・空気がおいしい。	・バス代が高い。 ・体育館が一つしかなく(バスケ等の)練習がしたくても、先に借りられていたら使用できない。スポーツ施設が少ない。
3	・落ち着いて生活ができる。人が多い感じがなく自分に合っている。	・遊びや観光の場所が少ない。
4	・伊賀より交通の便が良い(遊びに行く時は大阪に行くが行きやすい)。	
5	・高校で名張へバス通学するようになり、バス停やバスの中で年配の方が声を掛けてくれ温かいと思う。	
6	・空気が澄んで緑が多く、外を見たらホッとする風景が広がっている。 ・人が温かいと感じる。	・10代向けの服屋が少ない。
7	・自然が豊か。赤目四十八滝が好き。	・映画館など遊べるスポットがない。 ・バスの本数を増やしてほしい。
8	・つつじが丘は小中一貫教育。同じメンバーで9年間過ごすことはなかなか経験できないことで、名張でなかったら経験できなかったと思う。小学生の時から教科別に分かれ、中学校にあがっても違和感はなかった。出前授業で中学校の先生が小学校に来たり、小学生の時に中学校に行き体験授業を受けたり部活動に参加した。中学生になる不安はなかった。	・集まれる場所が少ない。 ・「名張って何がある?」と聞かれるとすぐに答えられない。
9	・空気が美味しい。	・遊ぶところが少ない。遊戯施設があれば。
10	・小中で挨拶運動があり、道ですれ違	・家(つつじが丘)の周りに街灯が少

	<p>っても挨拶し合うところが好き。 ・人との触れ合いに嬉しさを感じる。</p>	<p>ない。</p>
11	<p>・夜に散歩するが、田んぼの間を車を気にせず歩けるところが好き。</p>	<p>・自宅前が荒れた森で、秋の落ち葉や風の強い日の折れた木が気になる。</p>

Q:今後のライフステージ(進学・就職・結婚等)はあまり考えず、将来住んでみたい
まちは。

- 大学も働く場所も三重県と考えている。生まれ育った勝手が分かっている名張にいるのが好き。
- 名張から離れたいと思っていない。人も多くなく落ち着く。坂道が多いことには慣れた。
- 三重県から出て色んなところに住みたい。治安の良さそうな安全で安心して暮らせるところに住みたい。
- 高校を卒業して大学に行ったら留学したい。帰ってきた時には落ち着ける場所がいいので、名張又は名張と似たような田舎だが田舎過ぎないところ、車に乗れば色んなお店がある名張みたいところに住みたい。
- 大阪・京都方面の大学に進学し、一人でどこまでできるかやってみたい。車や電車に乗ったら、レジャー施設があるところに住みたい。住むのは静かな方が良い。
- 住みたい場所は考えたことがなかった。小さい頃から地震が怖いので、地震の心配が少ないところが良い。電車がないところも不便なので嫌だなと思う。
- 都会に憧れがあり、名張を離れたいと思っている。道路、駅でごみを見かけるが、きれいなところ、ちゃんとしているところに住みたい。大きな病院で看護師として働きたいので、都会に住みたい。
- 大学は祖父母の住む大阪方面を考えている。兵庫のいとは、駅から5分のところに住んでおり、電車に乗ったらすぐ都会に着くような場所に住んでいる。そのような場所に住みたい。
- 周囲に家がなく、大きな音を立てても何も言われないうところに住みたい。住宅街ではなく周囲に気をつかわないところが良い。田舎というイメージ。
- (便利で情報が集まるから)都会が好きなので大阪や東京に就職で住みたい。
- 将来は警察官になりたいと考えている。人口や犯罪が多い場所よりは、人口が少なめで、のどかなところで働きたい。生き物が好きなので、都会ではなく、海に近い自然あふれたところで住みたい。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年9月29日(木)午後7時00分～午後8時30分

場 所:名張市役所2階 庁議室(名張市鴻之台)

出席者:伊賀地区指導農業士会 名張地区(50歳前後のメンバー4人)

Q:(意見交換会参加者4人のうち県外出身者が3人であることから)名張の最初の印象と仕事・生活を続けられている今とどのように感じているか。名張の強み・弱み、良さ・欠点など。

○お米とお酒は名張が美味しいと実家に帰ったら話をしている。

直売のお客さんなど高齢化が進んでいると思う。(桔梗が丘にあったプールを備えたスポーツクラブ)は、何とか存続できなかつたのかなと思う。健康を考える年配の方の場所がなくなった。

市役所近く(車通りもあり、集客が見込める)にそ、ひぞっこ(JA いがふるさと直営の伊賀市内にある大型の農産物直売所)のような施設があればと思う。

○名張は住宅団地のイメージがある。大学時代は東京に住んでいたが、住宅団地で形成されているまちは珍しいと思う。夜、山の中腹に灯りが見えるなど。良いところと言えば良いところで、生活圏が165号線沿いに集中している。自分のところの直売所にもつつじが丘や赤目方面からお客さんが来てくれる。生活圏がギュッとコンパクトなイメージがあり、それが良いところ。伊賀市は広いというイメージがあるが、今後、住宅団地にお住いの方々の年齢が上がるにつれ、空き家等の問題が心配。隣地に草が生えてたり、そのような問題が生じているのではないかと思う。残って住んでいる者が、迷惑を受けたりするので。維持管理が大変だし、そういったところを今後どうするのか不安がある、なかなか策が見つからないと思うが。名張は駅近で遊べるところがない。車がないとどこにも行けない感じがする。

○約10年、東京で働きながら住んでいた。名張に約18年住み、実家に比べると名張の方が住みやすいまち。名張に来て結婚してすぐに子どもが生まれたが、私は小学校まで40～50分歩いて通うところに住んでいたし、周囲の子もそのような感じだった。交通も不便だった。現在の名張での住まいは、交通の便は多少悪いが、そこまで不便を今まで感じたことはない。個人的には住みやすいと感じているが、ただ、子どもを育てて、遊びに連れて行く出掛け先が名張市内でないのが悲しい。鈴鹿や奈良のショッピングモールに行くような感じだったので、もっと名張市内でお金落とせるような施設があってもと思う。(域内でお金を回せていない。)高校生の子どもも津方面へ通学しているが、その辺りで遊んでいる。勿体な

と思う。コロナ禍となり、また、子どもも大きくなり、家族と出掛けることもなくなったが、生活も変わり、買い物もネットで済ますようになった。

○住みやすいと思っている。小さい頃はあまり建物や買い物する場所も少なかったが、20代・30代の時に建物も段々と増えてきて、40代になると少し減ったりしてきたが、人口も減少してきているので。農産物は三重県の中でも作りやすいまちではないかと思っている。盆地で寒暖差もあり、良いものが作れると思う。お米も美味しい。名張も人口減少しているので、少しでも人口増になるようになってほしい。農産物の単価は需要と供給のバランスで価格が決まるので、少しでも需要を上げて、名張で販売していきたい。

県内の他地域で生産されている方に比べるとまだ作りやすい。四日市や桑名は場所が便利なので、市場が近く生産者は多いが、その辺りは暑い。

Q:(県外移住者の3名の方に対して)地域との関わりは深いか。

○義父母の地域とのつながりの中で、自分自身も仲良くしている。「農業経営者クラブ」という父たちの母体があり、BBQなどに声掛けいただき、今のつながりがある。

Q:伊賀はJAにしても会員数が多く規模も大きい。名張は会員も農地面積も少ない。ブランドづくりの際、地域ブランドを考えた時に、(伊賀地域としての)伊賀ブランドと名張というブランド、皆さんは仕事柄どちらの冠で売っていく方が良いか。

○直売のため、あまり考えたことはない。

○私はJAとの関わりが深い。伊賀ブランドの力は大きい、JA伊賀ふるさとの。3~4年前にJAが合併(JA伊賀北部+JA伊賀南部が合併し、現在JAいがふるさと)し、伊賀の農業の規模と組織力は段違い。私の生産する作物は伊賀地域でも私1軒だけ。販売となると伊賀地域の注文量はすごい。自分のブランドでスーパー等で販売しているが、それだけでは販売しきれない。合併した時に驚いた。一気に注文も増えた。伊賀は地産地消に力を入れている。伊賀市で手に入らないので、名張市のうちの生産物を仕入れることとなったようだ。だから、私の農産物は意図せず伊賀産となっている、ブランドについては、名張産や美旗産が良いと言いたいが。

Q:伊賀牛は従来、域内消費の肉と聞いた。皆さんは域内消費重視か、それとも域外への販路開拓を考えているのか。域外への販路開拓は大量のロット生産が必要となる。過去、三重テラスで大手スーパーと連携し三重県フェスタを実施した。好評

な地域の特産品については取り扱いたいとなったが求められる供給体制が取れなかった。高齢化の時代になる今後、皆さんは何かお考えか。

- 販売手法は変えていかないといけないだろう。高齢化が進んでいるので地元だけでは難しいと思う。贈答のお客さんは広げれば確保できると思う。弟夫婦はネットが得意なのでインスタ等に情報を掲載してくれている。
- ありがたいことに直売所にお客さんが来てくれて、商品が足りない状況になっている。今のお客さんをまず大事にすることを一番に考えている。現在はメールやネット、電話で注文のお客さんをお断りしている状況。今のところ違う販路は考えていない。高齢化というが、お客さんがまだ来てくれているので。自分が農業を始めたころ、高齢化に伴う新たな販路先も心配していたが、今のところそれほど減っていない。
- 家族で経営しているので、生産量を増やすには限界がある。市外に出荷しようと思うと、名張はトラックが来てもらうには不便な場所。伊賀市には名阪国道が通っているが。うちには4～5年前からトラックが来てくれない状況。月ヶ瀬で生産されている方がいるので、そこにうちの商品を持って行って一緒に出してもらっている。ケース数が多いとうちのハウスまで来てくれるが、4車線化など名張に来れるような環境が必要。名阪国道から遠いので。

Q:皆さんが若い新規就農について思うことは。

- 私が農業を始めた頃から我々4人は若手と言われずと見てきたが、国の政策等もあり、一時新規就農者が増えた時期があった。しかし、続いている方がほとんどいない。どうしたら良いかと考えた時に、ゼロからやるのは無理だろうと思った。我々4人に共通していることは、全員、地盤や看板を継いでいる。新規就農はゼロからやるイメージがあるが、名張全体の農業を見た場合、やめる人がものすごく多い。例えば、トマト5棟ぐらいいやっている、やめますと。じゃあそのハウスをどうするのか、バラして捨てるだけとなる。そこを誰かがつくったら良いと思う。あるものを使えば良いと思う。(事業承継が必要)
- 50棟のハウスがあるが、あと何年できるかと考えた時に、うちも子どもが継ぐとは考えにくい。貸せるような何かがあればと思う。県とか市で応援してもらえる何かがあればと思う。農家戸数を減らさないような努力をまずするために、ゼロから新規就農者にやらせることは無理があると思う。私は全くの未経験者だがやっけていける。基盤さえあれば設備もあり販路もあり。

Q:次の代はどのように考えているか。

- うちは子どもが大学を出て、一緒にやっている。
- 私はそのことばかり考えている。美旗メロンは、40代が3人(※発言者含む)と、あと3人が70~80歳代の方(後継者ナシ)。来年やめようかなと言っている方が1~2人。(部会の人数が減って)直売所を回すのが大変。
- (農業は家族継承のイメージがあるが)親世代にはまだ残っていると思うが、第三者継承も過去に比べ、言っていられない状況になってきていると思う。
- 親の世代は一切休みがなかったが、週1回でも休む日をつくるようにしている。
- スマート農業は考えたこともあるがまだまだ。コストが掛かり過ぎる。10年単位でも進んでいない。技術ができて現場に降りてくるのに時間が掛かる。
- 水稲はやっているが、やめたい。頼まれるのでやっているだけ。利益はない。お米の値段は下がっている。機械が壊れた時が一つの節目。稲刈りは他者にお願いしてる。草刈りもあり大変。
- お米も直売所で売るので、その分、他の方に比べてましではある。

新たな総合計画「(仮称)なばり新時代戦略」に係る意見交換会

日 時:令和4年9月30日(金)午後3時00分～午後4時15分

場 所:名張市役所1階 大会議室(名張市鴻之台)

出席者:地域づくり代表者会議 15人

<テーマ>

地域で課題となっていること、新しく取り組もうとしていること

(国津地区地域づくり委員会)

昨年度支え合い活動と配食サービスを始めた。コミュニティバスの運行があるが、バス停までも行けない人がたくさん出てきている。コミバスと外出支援の併用ができないか市と協議をしている。今年度中に方向性を出してもらって、次の世代に引き継ぎたい。

(一般社団法人 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会)

人口減少や少子高齢化で地方財政が弱くなっていくことは間違いない。新しい地域ビジョンの中で、地域が自主自立を目指し、市に頼り過ぎずに地域が運営していけるようにという方針を立てた。地域貢献しながら収入も得られることを目指し、若者の参画や担い手づくりを強化していきたい。

(箕曲地域づくり委員会)

新規の分譲住宅や集合住宅もあるので人口減少は緩やかだが、農村部では高齢化率が厳しい。この状況下で①転入者の地域づくりへの参画、②事業のマンネリ化・参加者の固定化、③地域のふれあいから地域福祉への発展の必要性という課題があがっている。今後、全住民アンケートも行いたいと考えているが、今回の総合計画には反映できないので残念。

(赤目まちづくり委員会)

5年前から高齢者向けの有償ボランティア制度が導入できて、たくさんの方の利用があり喜んでいる。竹灯りプロジェクトも住民皆で推進している。この事業は若い人の協力も得ながら、将来的には雇用を生み、現金収入を得られるようにと挑戦をし、一般の法人や企業になれるよう目指している。まちづくり委員会に多くの若者が入ってもらっていることが一番の財産であり、高齢者と若い人の考え方をつなげていくのが私たちの役割だと思って取り組んでいる。

(地縁法人 錦生自治協議会)

山と川に囲まれている地域なので大雨災害を念頭において行動している。民間事業者の2階を緊急時にお借りできる場所として提供いただけることになった。もう2~3か所安全に避難できる場所を確保したい。道路改修についてはかねてから要望しているが、部分的な補修や拡幅にとどまっている。名阪国道へのアクセスとなっていることもあり、広く市民にとっても有益なことなのでぜひお願いしたい。「忍者の郷」竜口のトレッキングコースは名張市、宇陀市、両地域の住民の協力により整備できた。今後は、市民センターや錦生グラウンドで軽トラ市やマルシェができたらという新事業の構想がある。

(つつじが丘・春日丘自治協議会)

空き地空き家対策を10年前から取り組んでいる。アンケートを実施して分かったのが、身内が帰ってくる予定があるというケースがほとんどないということ。そこで、子どもたちにまたつつじが丘に住みたいという思いを持ってもらえるように、つつじっ子会議や子どもフェスタを開催し、子どもたちの地域づくりへの参画を促している。高齢者も子どもも集まれる場所を作ろうということで集会所の開放を始めており、継続していこうと思ってやっている。

(蔵持地区まちづくり委員会)

- ① 市民センターの駐車場。台数が少なく、大きなイベントの際には近隣をお借りしている。現駐車場及び隣接地の整備について予算要求のご配慮をお願いしたい。
- ② 緑が丘に隣接する市道八幡夏秋線の斜面が崩れ出している。歩くのも危険を感じる状態であるため対策を講じてほしい。
- ② コミバスみどり号を走らせて14年になる。現在は 3,000 人/年程度の乗客。夏秋橋赤坂線の開通に合わせて路線変更を行い、蔵持のマックスバリュに乗り入れたい。しかし、ガード下を通り、道が狭いので小型バスしか通れない。運営協議会で検討中ではあるが、助言・協力をお願いしたい。

(中央ゆめづくり協議会)

地域ビジョンを策定したことで、事業を計画的に遂行できている。今後も地域ビジョンを基に事業展開をしたい。市として地域に期待すること、こういうポジションで地域づくりをしてほしいという提案がほしい。

(名張地区まちづくり協議会)

地域課題は、若者の育成と参画、空き家対策である。新しいこととしては、今年の街道市はイオンの駐車場をメイン会場としながら、若いスタッフが中心となって企画している。ポスター、チラシも変えて、若い人の活躍の場を作っている。空き家については、地域と商工会議所で行政とともにやっていくことを提案させていただく。旧老人センターについても市長に対して提案をさせてもらい、それを受け止めていただいた上で検討していただけたらと考えている。

(桔梗が丘自治連合協議会)

駅前の再開発と若者の人材発掘が課題。地域で駅前の再開発検討委員会を立ち上げる。市と地域とで検討会をできたらありがたい。商業施設でなくても、文化施設でも賑わいが取り戻せるのでは、との意見がある。組織としては、メンバーが固定化しているので考え方も固定化している。祭りについては、企画から参加してほしいとボランティアを呼び掛けたら、7人ほど参加してくれている。中央ゆめづくり協議会の人材バンクも参考にさせていただいている。

それぞれの地域でどういう街にしたいのか検討して、その中身を総合計画に入れていただく形にしていただければありがたい。

(ひなち地域ゆめづくり委員会)

6地区がそれぞれで別に事業をやっており、みんなで何かをしようということがない。新しいことをするときに参加してくれる人がなかなかいない。

名張市が若者に住んでもらうために、交通費(通学代)のカバーができないのか、そして、子育て世代への経済的な支援ができないのかと思っている。高齢者に支援が偏りがちではないか。

(すずらん台町づくり協議会)

法人化の必要性を感じて認可地縁団体となった。

地区のクラブで外出支援をしている。ただし、実費徴収しかできなく、運転手への謝礼や車両代を考えると補助金では足りない。日常生活のサポートも需要は増えるばかり。10月から施行される協同労働の考え方も取り入れる必要あるかと考えている。サロンでも子ども支援をしたいと考えているが、光熱費のことを考えると負担が重い。

ふるさと納税制度を利用して、地域づくりを支援できるような制度ができないか提案したい。返礼品無しの形で、特定の地域に寄付ができるような仕組みができないか。

すずらん台と隣接する伊賀市のゴルフ場でメガソーラーを建設して1月から稼働する段階に来ている。協定書を締結する予定だが、名張市の立会いをお願いしたい。

下水道の市移管がこれからだが、住民負担の軽減をお願いしたい。

市立病院の在り方検討委員会で地方独立行政法人が話題に出ているが、どうい
うものか分からないので、地域にも説明をいただき、答申の前に意見を聞いてもら
うことはできないか。

(地縁法人 美旗まちづくり協議会)

高齢化が進み、活動に行き詰った感じが出てきている。平成30年に青パトを開
始して、3人乗務で出発したが、今は2人乗務もままならず、時間も短縮している。
これから若者を巻き込んだ魅力あるまちづくりにしたい。

(薦原地域づくり委員会)

①浄化センターの跡地利用について、そこが雇用の場になり、加えて地域への貢
献となるようなことを考えていきたい。地域の想いを取り入れてもらいたい。

②観光と産業の基盤整備ということで、八幡工業団地に入る手前の山林を開発
して観光バスやトラックの休憩場所としての広い駐車場、サービスエリア的なものま
たガソリンスタンドもあれば使いやすいのではないか。

地域おこし協力隊の活動、生活についても協力する必要があると考えており、先
に述べたことも絡めて活用してもらいたいことを考えていただきたい。

(川西・梅が丘地域づくり委員会)

※所用のため途中で退席されましたが、以下の2点について市長に申し入れいた
だきました。

- ・名張川左岸の堤防整備について
- ・大屋戸保育所跡地について

【名張高校】新たな総合計画(なばり新時代戦略)に係る意見交換会 事前の意見集約 2022.9.27

	高校生の実態					名張とは	名張市の課題	名張の魅力		理想の名張		まちづくりの提案		
	普段、何をしておそんで遊んでる？	就職はどこでしたい？	10年後の夢は何？	10年後のライフスタイルはどんな感じ？	地域の祭りに関わったことある？あれば、どんなふうにか？	市外の人に、名張には何がある？って聞かれたら、何て答える？	名張の嫌いなところは？	名張の好きなところは？	名張の良さはどこ？	10年後名張がこんなふうになっていたらいいと思うことは？	ズバリ名張市長に何を期待する？	若い人たちが名張に住み続けてもらうにはどうするとよい？	進学などで市外に行った人に、戻ってきてもらうにはどうするとよい？	お金をかけずに名張市を盛り上げる方法は何か？
Aさん	家で好きな小説を読んだり、本屋さんに行ったりする。大体は外に出ることはなく家で過ごしている。	大阪など企業が集まっているところ	会社に務めること	名張から遠いところで働くなら名張を出て違うところで住む。名張の近くで働いたら名張から通勤する。	家の近くの公民館でのお祭りで役員が回ってきた時に、屋台の手伝いをした。	赤目滝、自然	交通の便が悪いところやお店が少なく、欲しいものを買にくいところ。環境の整備が進んでいない所が多いところ。	滝などの自然が豊かなところ	福祉施設や子ども食堂などの施設が充実しているところ。イベントが多いところ。	今以上に交通の便が良くなって、都会にある店などがあつたらいいと思う。若者が名張に住みたくなるような充実した市になればいいと思う。名張ならではの楽しみができたらいいなと思う。	車を持っていない人も買い物に不便しないように、色々な場所にたくさんのお店を作りたい。	都会にあるものを求めて名張から出ていってしまうと思うから、名張の不便な点に都会のよい点を取り入れたらよいと思う。	大学や会社の通勤が便利になるように出ていった人に帰ってきてもらうには、電車の本数を増やして通いやすしたり、キャンパスや会社を名張か名張の近くに作るのがよいと思う。	今まで行ってきたイベントの数を増やす
Bさん	手芸、読書、ゲームなど、あまり外で遊ばない	東海	私はしっかりと見定められていないので、名張市には子供の頃から職業について知ったり、実際にどのように働いているのか見ることができる、体験ができるようなイベントを作りたい。	働きながら、自分の趣味も充実させる。	ない。伊賀に住んでいるのでなかなか参加する機会がないです。	赤目の滝とオオサンショウウオ、青蓮寺湖のぶどう狩り。	市内での移動が大変なところ。車がないと大変だと思う。	名張高校とコラボさせてくれるところ。	福祉に力を入れているところ。	高齢者以上に若者が多くなってほしいと思う。	投票権のない子供の話も聞いてほしい。不登校の子が学校行けてなくても働けるよ、とかまた行きたくなくなったら行けるよ、などの未来の生活に安心とチャンスを与えて欲しい。	子供の頃から名張のイベントに参加させてもらったり、市とコラボすることで、名張愛が生まれるのではないかなと思う。	行ってしまった人を戻すことは正直困難だと思うので、これから育っていく人に名張の魅力を感じるようなイベントを体験できるような事を考えて、名張での子供時代が楽しかったと思えるようにする。	名張の高校どうしてコラボして、名張市の魅力になりうるようなものを生み出す。
Cさん	家でゲームや読書	東海地方	具体的には決められていないけど、正規雇用で働いていること。	仕事だけではなく、いろいろなことをやってみる。	名張市では関わったことはないです。	赤目四八滝。ぶどう。豊かな自然。	遊ぶところが少ない。名張市の特産品が少ない。名張市の特産品で調べてみると、伊賀焼や伊賀牛、かたやきなどが出てきたけれど、はっきりと名張の特産品と切り切れるものではない気がする。	食べ物のチェーン店が多くあるところ。近鉄など交通の便がいい。コミュニティバスがたくさん走っている。自然豊かなところ。	福祉に力を入れている所。	環境の豊かさが保たれつつ、遊べるところがたくさんある。歩道が少なく、少し危ないところがあるのでもっと歩道があつて、安全な街になってほしいなと思います。	豊かな自然を生かして、名張市でしかできない体験ができるイベントをたくさん作ってほしいです。名張の学校に行つてよかったと思えることを期待したいです。	難しいけど、大手の企業などを誘致し、雇用先を増やしてほしいと思う。若者応援をテーマとしてADSホールの無料開放など。交通の便をよくする。	大手企業を誘致して働ける場所を増やす。あとは、私は伊賀に住んでいるのでなおさらだと思うのですが、名張市の方々と直接関わることが少ないです。だから、地域の人とより関わられるイベントがあると良いと思います。例えば、名張市の花「キキョウ」やツツジの花畑を作る。その際に、名張市の学生や小さな子ども、地域の人など誰でも参加できる、花の植樹体験や水やり体験など楽しめるイベントを行う。(種から育てれば、毎年開催できる)また、できた花畑のところでキキョウやツツジなどその花にちなんだスイーツなどをお手頃な価格で販売するとか。戻ってきてもらうことは難しいけど、名張独自のイベントを行うことで郷土愛が深まるのではないかなと思います。	少しお金はかかるけど、名張市の中学生や高校生に授業の一環として協力してもらい(掃除など)、空き家を一定期間無料で貸し出しし、気に入ってもらえれば格安で売る。それをSNSで発信して知名度を上げる。
Dさん	買い物をしに行ったり、県外の施設に遊びに行く家でゲームをする。	名張	たくさんの人から信頼して貰えるような保育者になること。	結婚をして、一軒家を建てる。笑顔がいっぱいな生活。	小学生の時に夏祭りです。	ドン・キホーテ、赤目四十八滝、ダム 自然がいっぱいある。	移動が不便なところ。道にあまり電灯がないところ。草が沢山生えてて虫がいっぱいいるところ。歩道が急に消えるところ。駅前が廃れているところ。	田舎過ぎないところ。お店がそこそこあるところ。大阪に行きやすいところ。	地域の人が声をかけてくれる。飲食店が沢山ある。若者が積極的に活動できている。	子育てをみんなで協力して悩みなどを共有できるような感じになってほしいなと思う。空き家などが有効活用されていてシャッター街が減ってほしいなと思う。車を持ってなくても移動が簡単に出来るようになってほしいなと思う。駅周辺のお店マップみたいなものがあつたらいいと思う。	私たちがのような車の免許を持っていない若者達でも、名張市で買い物が出来たり遊べる街になることを期待します。枯梗が丘の駅前にお店がなくなって寂しい目になってほしいです。名張市といえど、！みたいなものが欲しいです。	現在の駅前はほとんど何も無いので、若者を対象とした施設を駅前につくる。歩きやすくて綺麗な歩道を作る。自転車専用の道をつくる。	良い就職先がある。半年に1回ぐらい名張市限定クーポンみたいなのを高校卒業まで名張に住んでいた人に配る。	SNSを上手に使って名張の色々なことを発信する。どこかの真似ではなく名張市独自のことをする。(珍しい植物の栽培などをしてテレビ取材に来てもらうなど)

	高校生の実態					名張とは	名張市の課題	名張の魅力		理想の名張		まちづくりの提案		
	普段、何を あそんで遊 んでる？	就職はどこ でしたい？	10年後の夢 は何？	10年後の ライフスタ イルはどん な感じ？	地域の祭り に関わった ことある？ あれば、ど んなふう に？	市外の人 に、名張に は何かあ る？って聞 かれたら、 何て答え る？	名張の嫌いな ところは？	名張の好きな ところは？	名張の良さほ どこ？	10年後名張 がこんなふ うになって いたらいい と思うこと は？	ズバリ名張 市長に何を 期待する？	若い人たちが 名張に住み 続けてもら うにはどう するとよい？	進学などで 市外に行っ た人に、戻 ってきても らうにはど うするとよ い？	お金をかけ ずに名張市 を盛り上げ る方法は 何か？
Eさん	家でゲーム をしている。	近畿か関東 のどこか	仕事につけ ている。	仕事につい ていて、自 分の力だけ で生きている	無い	赤目四十八 滝	お年寄り で車を運 転できない 人だったら 人の力が必要	都会でも ないし生活 するのに困 るほど田舎 じゃないと ころ。	大阪から 近い	人口が減っ ておらず若 い人が今よ りも多くな っている。	名張にし かできない ことを作る	名張にし かできない ことを作る	名張にあ るいい働き 先をアピー ルする	ボランティア だけでは 限界があ るけど名張 出身の有 名人を呼 んでイベ ントをす る
Fさん	カラオケ やボーリン グにいて いる	今のところ は伊賀に住 んでいて岡 波病院で就 職したい	みんなに頼 られる看護 師	看護師にな って毎日充 実している 生活をして いたい	したことな い	赤目四十八 滝がある 堅焼きがあ る	ゴミのポイ 捨てが多い	自然を感じ れる	自然を感じ れるところ	高校生など 若い人が遠 くに行かなく ても名張で 楽しめるお 店などができ ていたらいい	若い人た ちがもっと 楽しめるよ うにしたい 。そして名 張をもっと もっと明る くして欲し い。	若い人が 遠くに行か なくても楽 しめる場所 をつくる	市外に進 学した人が どのような 学校に行っ ているのか を調べて学 校をつくる か、今ある 学校の中 に取り入れ る	公園を利用 してスポー ツなどをす る活動をし る
Gさん	カラオケ or食へに 行く	大阪	結婚する	幸せな家 庭を持って いる	したこと がない	赤目四十八 滝	車がない と移動し にくい所	近鉄があ る	自然豊か	名張駅前 を発展して たらしいと 思う	交通の便 を良くす る。	交通の便 を良くす る。企業 誘致	幅広い職 業の働く 場所を提 供する。	名張の特 産品を使 った創作 料理コン テストを 開いて、 コンテス トで優勝 した人の 料理を名 張の名物 として売 る。
Hさん	スマホで ゲーム	地元（伊 賀）	店舗責任 者	一人で自 由に出かけ ている	名張学園 祭実行委員 （副委員長）	自然→赤 目四十八 滝	楽しめる 場所が限 られている →娯楽施設 が少なくな っている	人が良い ところ→優 しい、話し ていて楽し いなど	人が温か いところ	子どもか ら大人まで 幅広い世代 が楽しめる 場所になら ばいいなと 思う	どの世帯 でも暮らし やすい環 境を作るこ とに期待	若者受け する何か を作り人 を集めると 良い	名張の良 さを改め てPRする →SNSを 主に使用	現状ほ ぼなし
Iさん	スマホ ゲーム	あまりこ だわりは ない	車が欲し いのと趣味 を持ってお きたい	働いて結 婚したら家 族との時間 も大切に したい	特にな い	赤目48 滝やぶどう	若者が 行くよう な店が少 ない	身近に 自然と触 れ合うこ とができる	名古屋 や大阪へ の交通が 便利	県外の方 でも名張 市？ああ 、あそこ ねって名 前だけでも 知って貰 えたらいい	他の市 にはない ようなもの を作る	有名な 会社の本 社があれば 住み続け ると思う	仕事の 種類を豊 富にする	名前を まず知っ てもらう 為、名張 市の名産 品をSNS を利用して 多くの人 に認知し てもらう
Jさん	基本は インドア のため、 家でゲー ムをしたり 、絵を描 いたりす る。また、 愛鳥と遊 んでいる。	大阪また は名張	大阪また は名張の 病院で働 く臨床検 査技師。多 くの人の 病気の早 期発見や 予防に携 わり、助 けたいか ら。でき れば地域 のお祭り にも参加 したい。	(大阪に 職場があ る時)地元 の名張か ら、電車 やバスを 使って大 阪の職場 に通勤す る。	関わっ たこと がある。 名張学園 祭のボラ ンティア と、実行 委員で学 園祭の内 容を企画 するとい うことに 関わっ ている。	滝など の自然に 触れ合う ことが出 来る場所 がある。 夏には(2 年に一度 ?)ミク コレ、秋 には毎年 名張学園 祭がある よ！、と 答える。	道にゴミ や雑草が 多いところ 。花粉が 多い。	優しい 人が多い ところ。地 域と触れ 合えるイ ベントが あるところ	名張には 、優しい 人が多い ところだ と思う。夏 祭りで熱 中症にな って倒れ た時、た くさんの 人に助け てもらっ たから。空 気がおい しい。	「楽しい 」が絶え ない賑や かな街に なってい たらいい と思う。農 業・産業 ・イベン ト等が共 に発展し ている街 になっ たらいい と思う。	若者が 、興味を そそられ るような 名張市に してく れること を期待す る。また 、「新しい 」ことや 老若男女 問わず「 楽しい 」と思 えること を増やす ことを期 待する。	ゴミや 雑草が少 ない綺麗 な街にす るといい と思う。 もっと季 節に関す るイベン トがあ つたらいい と思う。例 えば、ハ ロウィン やクリスマ スなど。 もっと駅 の周りが 発展して いたら いいと思 う。駅の 周りにカ フェやレ ストラン など一服 できるお 店があ つたら いいと思 う→若者 にどん んなもの がいいか アンケート をとる→ もし、実 行でき たら若者 が満足 し、住み やすいと 思うかも 。また、 自分た ちの意見 も反映さ れるとわ かれば、 投票率も 上がるか も？	真新しい 今にない 家の外見 ・内装の デザイン を考えて 、名張に しかない 家を建て て売る。 「田舎に 住みたい 」「家を買 いたい」 と思っ ている人 が「お、 この家い いなあ！ 」と思っ て帰って 来るかも しれない 。そうす ると、名 張に「新 しい街並 み」がで きて、ち よっとだ け知名 度が上が るかもし れない。ま た、有名 企業など の良い就 職先を増 やす。名 張で働く 人や住 む人が増 えると思 う。その ためには 、企業が 求めるよ りよい環 境が必要 だと思 う。例え ば土地の 場合や 広さなど 。	音楽や ダンスな どを目指す 若者が、 路上ライ ブをする 。小規模 で、人が 集まる騒 いでも良 い所で、 定期的に 開催す る。「名 張は活動 しやすい ！」「名 張って日 頃から 楽しい街 だ！」と 思う人 が増える かもしれ ない→楽 しい街な ら住む 人が増 えるかも しれない

【学校教育を通しての企画】

子供の頃から職業について知ったり、実際にどのように働いているのかが見ることができ、体験ができるようなイベントを作って欲しい。

名張市の中学生や高校生に授業の一環として協力してもらおう(掃除など)

若者にどんなものがあるかアンケートをとる→もし、実行できたら若者が満足し、住みやすいと思うかも。また、自分たちの意見も反映されるとわかれば、投票率も上がるかも？

【地元就職のための企画】

大手の企業などを誘致し、雇用先を増やすといいと思う。

有名企業などの良い就職先を増やす。名張で働く人や住む人が増えると思う。そのためには、企業が求めるよりよい環境が必要だと思う。例えば土地の場合や広さなど。

【若者向け企画】

若者応援をテーマとして ADS ホールの無料開放など。

音楽やダンスなどを目指す若者が、路上ライブをする。小規模で、人が集まる、騒いでも良い所で、定期的を開催する。「名張は活動しやすい!」「名張って日頃から楽しい街だ!」と思う人が増えるかもしれない→楽しい街なら住む人が増えるかもしれない。

名張出身の有名人を呼んでイベントをする。

半年に1回ぐらい名張市限定クーポンみたいなのを高校卒業まで名張に住んでいた人に配る。

【まちの活気づくりのための企画】

地域の人とより関われるイベントがあると良いと思います。例えば、名張市の花「キキョウ」やツツジの花畑を作る。その際に、名張市の学生や小さな子ども、地域の人など誰でも参加できる、花の植樹体験や水やり体験など楽しめるイベントを行う。(種から育てれば、毎年開催できる)また、できた花畑のところでキキョウやツツジなどその花にちなんだスイーツなどをお手頃な価格で販売するとか。戻ってきてもらうことは難しいけど、名張独自のイベントを行うことで郷土愛が深まるのではないかなと思います。

駅周辺のお店マップみたいなのがあったらいいと思う。

どこかの真似ではなく名張市独自のことをする。(珍しい植物の栽培などをしてテレビに取材に来てもらうなど)

名張の特産品を使った創作料理コンテストを開いて、コンテストで優勝した人の料理を名張の名物として売る。

もっと季節に関するイベントがあったらいいと思う。例えば、ハロウィンやクリスマスなど。

もっと駅の周りが発展していったらいいと思う。駅の周りにカフェやレストランなど一服できるお店があったらいいと思う。

【移住促進企画】

空き家を一定期間無料で貸し出し、気に入ってもらえれば格安で売る。それを SNS で発信して知名度を上げる。

真新しい今にない家の外見・内装のデザインを考えて、名張にしかない家を建てて売る。

「田舎に住みたい」「家を買いたい」と思っている人が「お、この家いいなあ!」と思って帰って来るかもしれない。そうすると、名張に「新しい街並み」ができて、ちょっとだけ知名度が上がるかもしれない。

【都市計画】

若者を対象とした施設を駅前につくる。

歩きやすく綺麗な歩道を作る。自転車専用の道をつくる。

2年次 主権者学習における提案

2年次主権者学習では、SDGsを身近なものとしてとらえ、実際に自らの党が県議会議員に立候補することを想定し、その過程を通して主権者としての意識を高めていくことを目標とし、学習しています。

政策を2年次全員で考えましたので、分野別に何点か紹介させていただきます。



教育分野

- ・ **高校生や大学生が無料で勉強を教える場所を作る（学校外での勉強を教えるボランティア活動）**
⇒ 貧困やイジメなどで学校に行けない子が勉強出来るようにするためその場所をまずは作る。高校生や大学生が教えることで教える側も分かることがあるから、お互いに学ぶことがあると思う。
- ・ **地域コミュニティを増やす**
⇒ 地域コミュニティを増やし、高校生などの学生、若者が高齢者の方などに関わりを作ることによって、昔の生き方や状況なども学ぶことができるから。反対に、高齢者が高校生などの学生、若者からスマホの使い方などの困っていることを聞くこともできるから。そして、最近、一人暮らしの高齢者が亡くなってしまいうというニュースを見ることも少なくはないから、高齢者が高校生などの学生、若者と関わることによって、元気に楽しく過ごし、孤独死や熱中症で亡くなるということが減るのではないかと思ったから。
- ・ **通信環境を整えてオンライン教育**
⇒ 各地域に学校を建てるよりオンラインの方が多くの子供が教育を受けることができるから。
- ・ **ヤングケアラーの支援を増やす**
⇒ 近年、ヤングケアラーが増えているという事が調べて分かりました。そして、ヤングケアラーは、学業などにつきにくいと聞いたので、ヤングケアラー対象の学校などを作るのはどうでしょうか？



ジェンダー分野（不平等についても含む）

- ・ **地域の中でジェンダー平等に関して理解を深める為の講座とかを開いて広める。ジェンダー知識をしっかりと学校の人権で学習すると共に、地域でも大人の方や高齢者に向けてのジェンダーに関する講座を開く。**
⇒ 今あまりこの地域ではジェンダー平等に関する事とかを学校以外あまり聞かない事が多いので学校以外で地域にそういうのがあったらいいなと思いました。
- ・ **ジェンダーに関する質問箱設置**
⇒ ジェンダーに関することは匿名の方が言いやすく、様々な意見を取り入れることができると思うから。
- ・ **男性も育児休暇を取りやすい環境を作る。法律的には、取りやすくなったが周りの人の理解が足りていない。そのために、男性の育児休暇のメリットをいろいろな人に発信する。**
⇒ 男性の育児休暇の取得率は上がっているが配偶者の育児や産後の仕事への復帰を十分にサポートできるほどの期間は取得できていないから。
- ・ **同性婚が認められるような制度を作る**
⇒ 他の国が沢山認めているのに日本は認めないのが分からない。LGBTを広めるなら同性婚を認めないといけません。



まちづくり分野

- ・ **住みやすい町、住み続けたい町にするために町の困ったことや、改善したいことなどをアンケート BOX として学校や、スーパーなど人が多く集まるところに設置する。集まった意見を学校で話し合い、解決方法を出し、意見を市役所に言う。**
 - ⇒ みんなが安心して暮らせる町にするために意見や改善したいところを簡単に言えるところが必要だと考えたから。町を出て都市に行ってしまったら、人口が集中してしまうし、都市に人口が多くなることにより、治安が悪くなってしまう事が問題なので、この町に住み続けたい！！と思えるような町にするため。いつも改善したいところは誰かに話をして終わってしまう事が多いから。
- ・ **中学校や高校を卒業してすぐに働く人や1人暮らしを始める社会人に経済的支援を行う**
 - ⇒ 若者が暮らしやすいようにするため
- ・ **観光業に力を入れる**
 - ⇒ 名張や伊賀はあまりお土産などが少ないとかんじたから
- ・ **隠れ歴史スポットを世に広める**
 - ⇒ この辺は昔、忍者と織田家の戦地で、たくさん燃やされたと聞き、驚くような話もたくさんあったため。マニアにはとても面白い場所だと思ったからです。
- ・ **街灯増加**
 - ⇒ 冬等、普段よりも暗くなるのが遅くなる。部活の関係などで帰宅時間が遅くなり、暗い道の中を帰るのは何か事件に巻き込まれる可能性がある。明るい、暗いかでそれなりに変わってくるから。
- ・ **自然を生かした観光地を増やす（アドベンチャーパークなど）**
 - ⇒ 名張には自然がたくさんあるのでそれを生かした観光地を作れると思ったから。北海道のアドベンチャーパークが楽しかったから
- ・ **ポイ捨てを無くすために、ポイントが貯まるゴミ箱を設置し、色んなスーパーでポイントが使えるようにする。**
 - ⇒ ポイントをつけることによって、ポイント増やそうという人が増えて、ポイ捨てが少なくなる。
- ・ **新築物件の物価を最小限に抑えたり、中学を卒業するまで医療費を無料にするなどして、家族世帯に魅力を感じてもらおう。また、ゲームや音楽といった、若い世帯に人気のあるコミュニケーションツールの交流の場を作る。**
- ・ **バスや電車などの公共交通機関を使用したときに名張で使えるクーポンなどの配布や便数の増加**
 - ⇒ お年寄りの人や妊婦さん、子供ずれの人などが、車を運転することなく病院やスーパーに行くことができる。荷物が重かったり、足が悪かったりしても、敷地内にバス停をおくことにより、使いやすく、住みやすい町になるのではないかと考えたから。
- ・ **名張市からポイ捨てを無くそうプロジェクト**
 - ⇒ 名張市を歩いていると、ゴミが落ちている所をよく見かけます。なので、綺麗で住みやすい名張市にしたいと思いこの政策にしました。そうすることで、海の豊かさを守ることにもつながるから。